

ホンモロコ養殖

ホンモロコ養殖組合
連絡協議会会長

川和 義夫さん
(大内)



なちちゃんかホンモロコ養殖についてお話を伺いました。

ミジンコを好むので、それをうまく発生させることができるかどうかが重要です。

Q 餌のやり方は?

川和さん 自動給餌機で餌を与えています。餌を与えた時に、数えきれないホンモロコの稚魚が集まってくる光景がすごいです。

Q 販売するまでの期間
はどのくらい?

川和さん 5月に産卵させて、水揚げは10月から11月になります。

Q 一番おいしい食べ方は?

川和さん ホンモロコは、唐揚げや天ぷらも美味しいですが、塩焼きが一番だと思います。

Q 養殖で一番苦労したことは?

川和さん 大きく育てることですね。池の大きさによりますが、沢山の稚魚を入れると大きく育てないの、だいたい、4万尾ぐらいが限度です。

Q 採算はとれますか?

川和さん 1キログラム3000円で販売でき

Q 養殖を始めたきっかけは?
川和さん 大内地区には稲作に適さない湿田があるのでそれを活用して何か出来ないかということから始まりました。
Q 人工ふ化を行っているところ聞きましたが、どのくらいの数をふ化させているの? 成功の秘訣は?
川和さん 約20万粒です。やはり水管理と餌ですね。稚魚は、ワムシや



ば、餌代や電気料を差し引いても利益は確保できます。

Q 最後にこれからの目標を教えてください

川和さん 今年400キロの水揚げが出来ましたが、安定的に生産できればと思っています。また、大きさをそろえることも大事なことですし、最終的には地域ブランド化を目指したいと思っています。

「キラリ町おこし」は、町おこしで頑張っている方にスポットをあて、紹介をしていく新コーナーです。

議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。あなたも一度傍聴してみませんか。

次の定例会は、3月5日開会(平成26年第2回那珂川町議会定例会)の予定です。議場は、小川庁舎3階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

編集後記

早いものです。ついこの間お正月を迎えたと思ったら節分も終わり梅の花の便りが届く季節となりました。月遅れではございますが、町民の皆さん方におかれましては、平穩を願ひ初春をお迎えのことと存じます。

昨年を振り返ってみますと、異常気象が顕著で日本中いたるところに災害をもたらし、また、海外では特にフィリピンでの台風による被害は、異常ともとれる災害をもたらし、自然の恐ろしさを認識させられた年ではなかったかと思ひます。

一方、明るいニュースでは富士山が世界文化遺産に、2020年に東京オリンピックの開催が決まるなどしました。

さて、議会の動きですが、昨年12月の定例会で馬頭高校存続のため特別委員会が設置され、活動を開始しましたが、議会だけの力では存続は難しいと考えています。どうか町民各位のお力をお貸しください。また、議会改革も間もなく、皆さんにご報告できると思っております。

なお、議会広報が町民の皆さんに身近な広報となるよう見直していきたくと考えております。結びに、今年こそ目に見える那珂川町の一層の飛躍と町民各位の願望が「ウマ」くいくことを願ひつ。

議会広報特別委員会

委員長 塚田 秀知

第6回12月定例会の
議会傍聴者数

12月4日	17人
5日	4人
6日	0人

●表紙写真
題名

「議会改革アンケート調査」
撮影場所
小川総合福祉センター

◎議会では、議会改革の一環として、若い人から意見をもらうため成人式会場で、アンケート調査を実施しました。